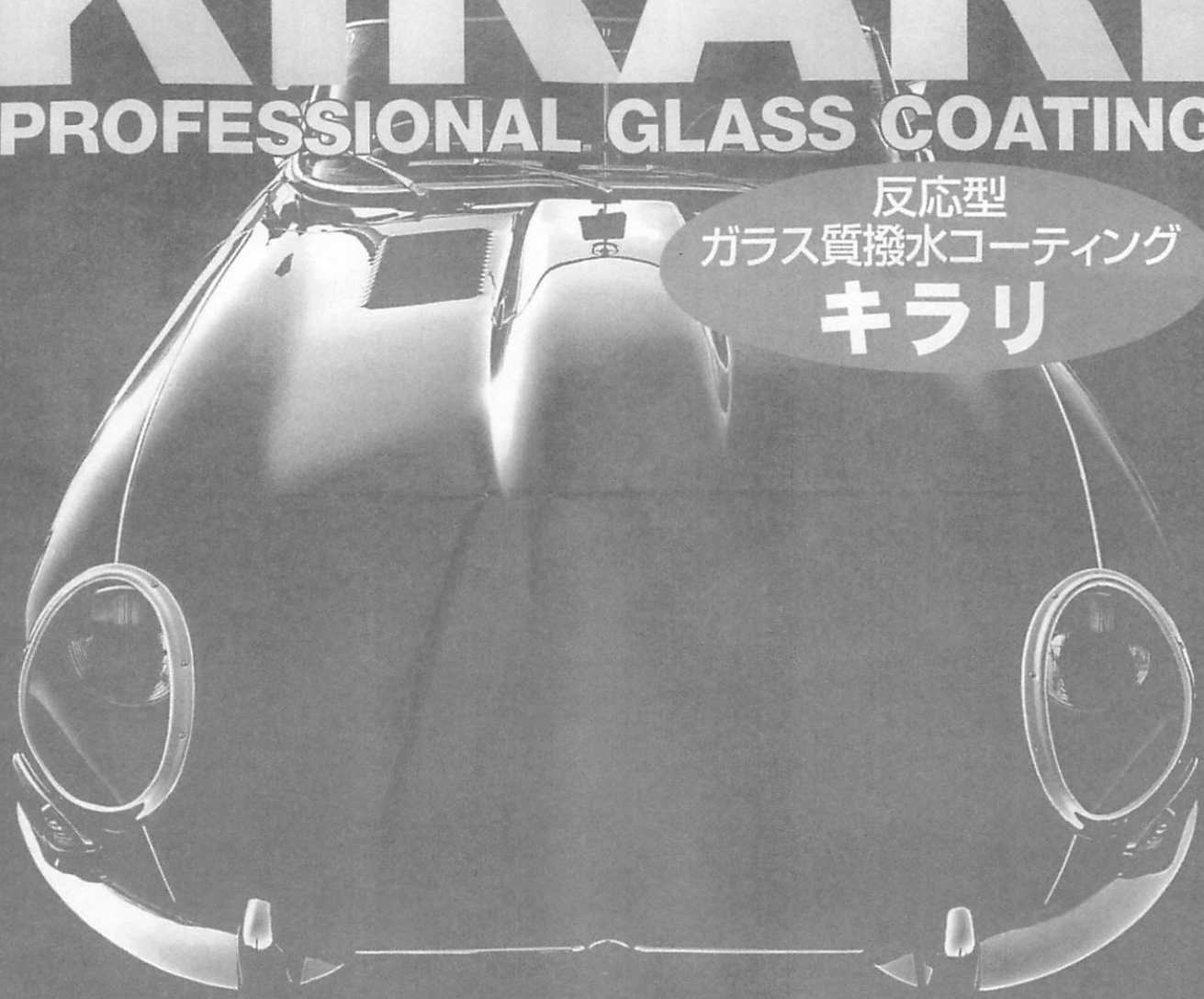


Always Beautiful in Your Car!

KIRARI

PROFESSIONAL GLASS COATING



反応型
ガラス質撥水コーティング
キラリ

新車の輝きをサポートするキラリ

撥水性能の持続

キラリは、科学的根拠に基づいたハイグレード撥水コーティング剤です。空気中の水分と反応性シリコーン樹脂が化学的に結合・硬化し、強固なガラス質コーティング被膜を形成することで、浮き上がる水はじきを長期にわたり持続します。

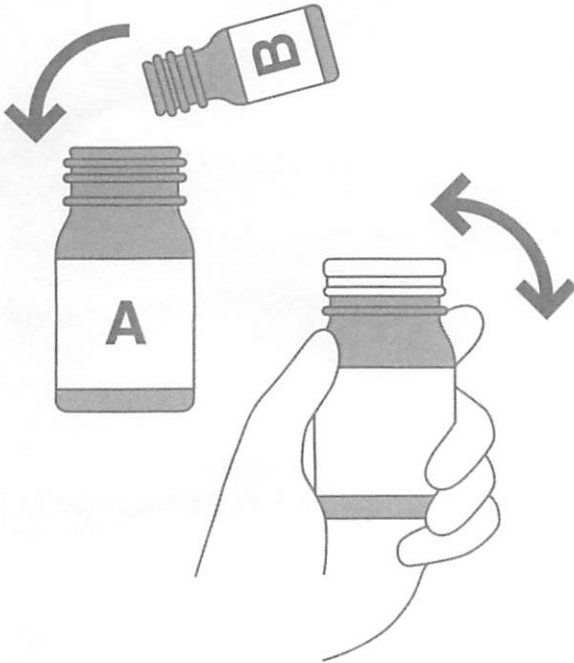
メンテナンスの確立

強いガラス質コーティング被膜と、キメの細かいメンテナンスによって、自動車塗装面の保護・防汚システムを確立しました。普段のお手入れは水洗いのみで充分ですが、キラリのメンテナンスシリーズをご利用いただくことにより、高いレベルで優れた撥水性能を長期にわたり持続できます。

●深いツヤは特に濃色車において威力を発揮します。漆塗りのような高級感を実感してください。

株式会社 **ワーカー**

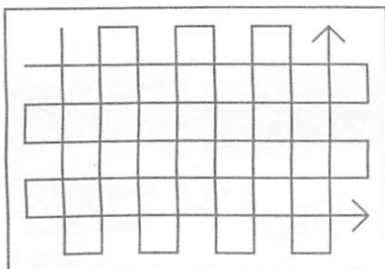
キラリ施工マニュアル

作業内容	注意事項
<p>1. 鉄粉除去作業</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) まず、塗装面の砂や泥などは洗車用洗剤などを用いて取り除きます。 2) 市販の鉄粉除去粘土を用いて、塗装面に付着した鉄粉を除去します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ タールピッチなどは市販のタールピッチクリーナーで除去してください。 ・ 鉄粉除去が不十分であると、キラリの拭きとり時に、残存した鉄粉に沿った拭きムラが発生する可能性があります。鉄粉の除去は十分に行ってください。
<p>2. 研磨処理作業</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 塗装面周辺、ガラス、バイザー、ワイパー、ウォッシャー液ふきだし口、バンパー樹脂などをマスキングテープ・シートなどで養生します。 2) コンパウンドなどを用いて、研磨処理作業を行います。ワックス・コーティング剤などの残存具合などに応じた処理を行ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンパウンドなどでの下地処理工程による汚損防止と、ポリッシャによる損傷防止のために、養生は十分に行ってください。 ・ 研磨処理の程度によって、仕上がり・耐久性に差が生じます。特に、中古車の場合は、劣化したコーティング膜や、劣化した塗装面を除去するため、十分に研磨処理作業を行ってください。
<p>3. 洗浄作業</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ノンシリコンの洗剤などを用いて、残存のコンパウンドを除去、洗浄します。 2) 洗浄剤を水で洗い流します。 3) 洗浄後、清潔なタオルなどで水分を完全に拭き取ります。 4) 水分を完全に乾燥させます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洗剤を洗い流す際に、水がはじいていないか確認します。自動車塗装面は元来、撥水するものですが、コンパウンドなどに含有する油分などが残留すると、本製品の性能が完全には発揮されない可能性があります。 ・ サイドミラー・モール部分など、水分が残りそうな部分は気をつけて拭き取ってください。
<p>4. キラリ混合作業</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) A液とB液を混合して用います。まずA液とB液をそれぞれよく振ります。 2) A液(大ビン)にB液を全量入れ、キャップを閉めてからよく振って液を混ぜます。 	

キラリ施工マニュアル

作業内容	注意事項
<p>5. キラリ塗布・拭き上げ作業</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 塗装面に水分が残っていないか確認します。 2) 付属のスポンジにファインクロス#206(茶色)を巻き付けます。ファインクロス#206(茶色)に混合した液を適量とりうすく、均一に塗り広げます。 3) 塗布したキラリの表面が乾燥し、うっすらと白っぽくなってきたら、順次拭き上げ作業を行います。 4) 付属のファインクロス#204(青色)を用いて、拭き上げてください。 一度に全面をキラリで塗布するのではなく、パネルごとに塗布し、拭き上げ作業を行った方が、良好な仕上がりが期待できます。 5) 拭き上げ後に、拭き残しがないかチェックしてください。 6) 初期硬化のために24時間は雨水などにあてないでください。  <p>●以上で作業完了です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水分の乾燥が不十分であると、本製品の性能が完全に発揮されない可能性があります。 ・直射日光の当たる環境では作業しないでください。 ・気温5℃以下の環境では、本製品の性能が完全に発揮されない可能性があります。 ・力を入れて塗り込む必要はありません。 ・キラリは多量に塗布する必要はありません。また重ね塗りの必要もありません。 ・ファインクロス#206(茶色)にキラリを含ませすぎると塗りムラが発生しやすくなります。一度に含ませる量は約2ml以下にしてください。 ・薄く塗りのばすようにして塗布することが、ムラなく仕上げる最大のコツです。 ・1㎡あたり約2.5mlが塗布量の目安です。 ・最初に縦方向に塗布し、次に横方向にまんべんなく塗布作業を行ってください。 ・拭きとり可能時間は、温度・環境によって変わります。キラリの乾燥具合を目視にて判断し、うっすらと白っぽくなったら、なるべく間をおかず拭きとってください。 ・拭きとり可能時間の目安は約15分です。 ・液剤、水分などがついたファインクロス#204(青色)、ファインクロス#206(茶色)は使用しないでください。 ・ファインクロス#204(青色)は洗濯洗剤などを用いて洗濯機などによって洗ってください。

●参考図



- ・キラリ塗布・拭き上げ作業を左図の要領で行います。
- ・塗り残し、拭き残しなどを防ぐために、矢印にしたがって、最初に縦方向、次に横方向にまんべんなく作業を行ってください。
- ・キラリ塗布作業は、できるだけ手早く、薄く塗りのばすように塗布してください。

〒734-0222 広島市南区東区本町一丁目7番1号
有限会社 松谷塗料店
 TEL(082)-282-7727 FAX(082)-282-7746
<http://www.matsutanitoryouten.jp>
[mail://info@matsutanitoryouten.jp](mailto://info@matsutanitoryouten.jp)

キラリ施工マニュアル

※その他の注意事項

- ・作業手順は必ず守ってください。本製品の性能が完全には発揮されない可能性があります。
- ・キラリは、空気中の水分と反応して硬化します。施工面に水分があると硬化不十分になる可能性があります。
- ・キラリは、自動車ボディ用コーティング剤です。他の用途ではご使用にならないでください。
- ・液剤が目や皮膚に付着しないよう衣服を整えて作業してください。万が一、付着した場合は、直ちに水洗いをしっかり行ってください。
発疹などの異常が出たら、すぐに医者診断を受けて適切な処置を行ってください。
- ・目に入った場合は、直ちに洗眼してください。異常がある場合は、すぐに医者診断を受けて適切な処置を行ってください。
- ・肌荒れの危険性があるので、出来るだけゴム手袋などを着用してください。
- ・キラリは、幼児などの手が届かない冷暗所に保管してください。冷蔵庫などに保管されることをお奨めします。
- ・キラリは、開封後1回使い切りにしてください。
- ・ファインクロス#206(茶色)は、車1台施工で使い切りにしてください。
- ・劣化のひどい塗装面のツヤは復元しません。

◎お客さまへアドバイスする使用上の注意点

- ・洗車は基本的に水洗いで十分です。さらに高い撥水性能をお楽しみいただくには、キラリ シャンプー[ソーラー]、しつこい汚れが付着した場合は、キラリ クリーナー[ソーラー]をお使いください。また、撥水状態が弱まってきたら、キラリ リカバー[ソーラー]をお使いください。
- ・市販のシャンプー、クリーナー、ワックスなどのご使用は、撥水コーティング剤としての性能が損なわれる可能性があります。
- ・洗車機洗車はキズの原因となるため、手荒い洗車をお奨めします。洗車機洗車をなされる場合は、ノンブラシ洗車か布洗車をご利用ください。

■施工時に使用する工具・用品など

- タオル(水分拭き取り用)
- マスキングテープ
- コンパウンド
- ポリッシャ
- スポンジバフ
- 洗車用スポンジ
- 手袋

- ・本製品施工時に使用する工具・用品などを一覧掲示しました。
- ・好適推奨品として、コンパウンド(ツウインクルスーパーL-3000[ソーラー])、バフ(スポンジバフS-3000[ソーラー])、タオル(ファインクロス#204[ソーラー])、手袋(ニトリル 872[ソーラー])。
- ・その他、作業状況などに応じて、必要な工具・用品などをご用意ください。